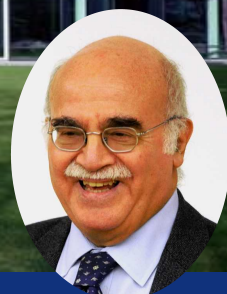


# 海洋法の20年の発展と 新たな課題

- 主催：外務省 -



基調講演  
ウラジーミル・ゴリツィン  
国際海洋法裁判所所長



パネリスト  
トウーリオ・トレヴェス ミラノ大学名誉教授  
柳井俊二 国際海洋法裁判所裁判官  
他



【日時】 平成29年2月2日(木) 10:00~17:00 (開場 9:30)

パネル・ディスカッション 第一部 国連海洋法条約(UNCLOS)の下での海洋法の発展  
第二部 UNCLOSの下での紛争解決の発展  
(レセプション 引き続き開催)

平成29年2月3日(金) 10:00~13:30 (開場 9:30)

パネル・ディスカッション 第三部 海洋法関連の新たな課題

【場所】 三田共用会議所講堂

(〒108-0073 東京都港区三田2-1-8)

【参加】 無料(定員150名) 【言語】 日英同時通訳あり

## 【参加申込み方法】

参加の申込みは、電子メールにて受け付けます。電子メールの件名を「参加希望」とし、必要事項①お名前(ふりがな)、②ご所属の団体名、③役職等、④電話番号)をご記入の上、平成29年1月25日までに以下の専用アドレスまで送付下さい。満席となった場合には、申込み締め切り前に予告なく募集を終了する場合がございますので、あらかじめご了承ください。お申込みをいただいた方には、締め切り後速やかに参加の可否をお知らせいたします。

送付先アドレス: [los-symposium@mofa.go.jp](mailto:los-symposium@mofa.go.jp)

## 【お問い合わせ】

外務省国際法局海洋法室 電話: 03-5501-8000(内線:5650)

電子メール: [los-symposium@mofa.go.jp](mailto:los-symposium@mofa.go.jp)



基調講演

ウラジーミル・ゴリツィン 国際海洋法裁判所(ITLOS)所長

第一部: 国連海洋法条約(UNCLOS)の下での海洋法の発展

コーディネーター: 坂元茂樹 同志社大学法学部教授

柳井俊二 ITLOS 裁判官, 前同裁判所所長

「ITLOS は国際法の漸進的発展に寄与することができるか」

トゥーリオ・トレヴェス ミラノ大学法学部名誉教授, 元 ITLOS 裁判官

「法の支配の強化に向けた過去 20 年間の ITLOS の貢献」

浦辺徹郎 大陸棚限界委員会(CLCS)委員

「CLCS の 20 年間の発展」

第二部: UNCLOS の下での紛争解決の発展

コーディネーター: 兼原敦子 上智大学法学部教授

ロドマン・バンディ 弁護士, Eversheds シンガポール事務所所長

「海洋境界画定 - UNCLOS に基づく紛争解決の経験から -」

河野真理子 早稲田大学法学部学術院教授

「海洋法に関する国際裁判と日本」

岡松暁子 法政大学人間環境学部教授

「ITLOS と環境保護」

第三部: 海洋法の新たな諸問題

コーディネーター: 奥脇直也 明治大学法科大学院教授

マチアス・フォルター パリ大学(ナンテール)法学教授

「国際裁判所の決定の不履行: 今日の課題」

鶴田順 政策研究大学院大学連携准教授

「外国漁船の取締りに対する妨害行為への対応 - 日本の国内法整備等に焦点をあてて」

レナ・リー シンガポール司法庁上級国家参事官

「国家管轄権外区域の海洋生物多様性(BBNJ)」

ケネディ・ガストーン アジア・アフリカ法律諮問委員会(AALCO)事務局長

「海における国際組織犯罪: 人身売買及び薬物密輸」

基調講演者

ウラジーミル・ウラジーミロヴィッチ・ゴリツィン 国際海洋法裁判所(ITLOS)所長

国際海洋法裁判所(ITLOS)裁判官(2008年-)、現 ITLOS 所長(2014年-)。ゴリツィン所長は、旧ソ連外務省において法律専門家として長年に亘り勤務し、法律・条約局国際公法課長等を務めた。その後、国連事務局法律顧問室に勤務し、2007年に ITLOS 裁判官に選出されるまで、海事・海洋法部(DOALOS)部長を務めた。モスクワ国際関係大学やモスクワ大学において教鞭を執る他、様々な学術的なフォーラムにおいて、海洋環境保護、北極問題や延長大陸棚の境界画定など、多様なテーマで講義を行っている。2011年から2014年までは、ITLOS 海底紛争裁判部の裁判長を務めた。ロシア海事法学会副会長。

パネリスト

トゥーリオ・トレヴェス ミラノ大学法学部名誉教授  
元国際海洋法裁判所(ITLOS)裁判官

伊ミラノ大学法学部名誉教授, 元 ITLOS 裁判官(1996年から2011年), Curtis-Mallet, Colt & Mosle LLP. 国際法上級顧問。第三次国連海洋法会議の全セッションに伊代表団員として参加するなど、海洋法に精通。ITLOS 設立当初から 15 年にわたり ITLOS 裁判官を務め、海底紛争裁判部裁判長として、同裁判部初の勧告的意見の発出を指揮した(第 17 号事案)。多くの国際裁判・仲裁において、弁護士、仲裁人やアドホック裁判官を務める。ハーグ国際法アカデミー及び万国国際法学会(IDI)運営委員会委員。

柳井俊二(やない・しゅんじ)  
国際海洋法裁判所(ITLOS)裁判官(前同所長)

ITLOS 裁判官(2005年-)、前 ITLOS 所長(2011-14年)。長年にわたり外務省に勤務し、外務事務次官、駐米大使等の要職を歴任。退官後は、中央大学及び早稲田大学で教鞭をとった。ITLOS 所長在任中は、2 件の暫定命令及び 2 件の判決の言渡しを指揮。退任後も 1 件の事案を引き続き指揮し、違法・無報告・無規制漁業に関する勧告的意見の発出に導いた。

このほか、海洋法の著名な研究者・実務家が多数参加